

整理番号 S-151

出展 織物欠点解析事例集(第3集)

欠点名 布目曲り(熱履歴差)

品名 交織トロピカル

試料形態 織物

組織 平

糸使い

たて糸:ポリエステルブライト 150d/36f(S)900T/m

よこ糸:麻 20^S/1

欠点発生状況

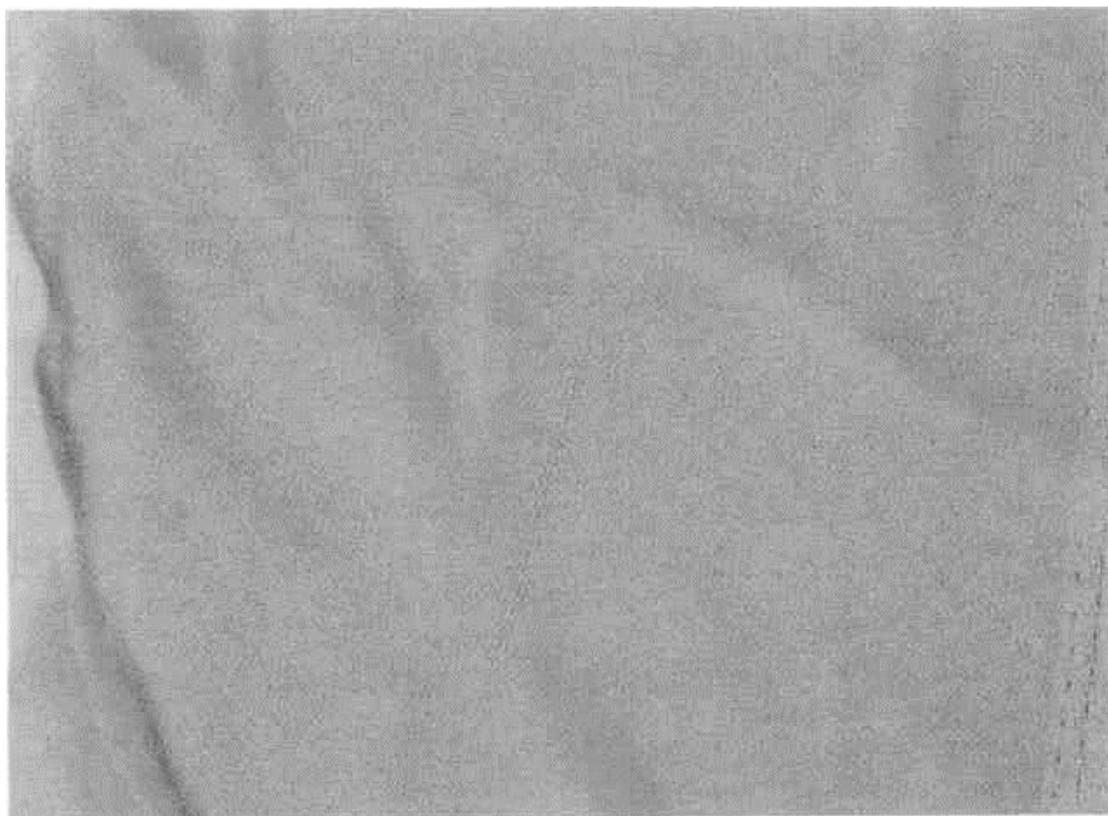
生機検査では布目曲りは発見されずに、加工後に左右の仕上り長さが違ったため、長さ方向に湾曲状態の布目曲りが発現した。

工程

たて:原糸—ダブルツイスター—チーズ巻(セット)—部分整経—引込—レピア織機

よこ:原糸(麻)—大型コーン巻—————|

試料写真



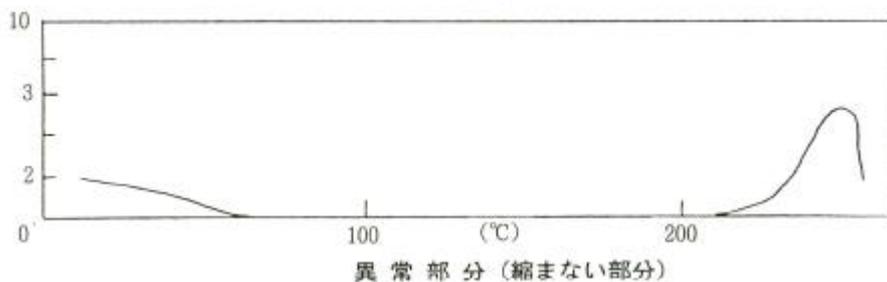
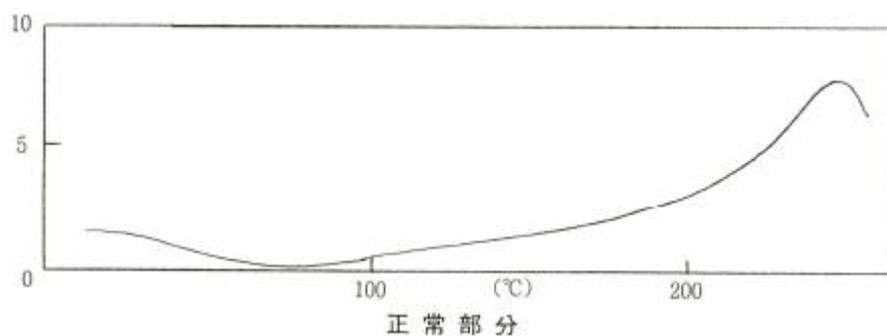
試験結果

(1)織度測定、(2)撚数測定

試験項目	正常部分		異常部分(縮まない部分)	
	生機	仕上品	生機	仕上品
織度(d)	180	195	203	203
撚数(T/m)	824	888	922	924

(3)熱応力測定

・異常部分の糸は高温の熱処理がされている。



所見

仕上げ加工で縮まない異常部分の糸は、チーズの外層部分に相当し、撚止め時に、瞬間的に高温がかかったことにより、異常収縮を生じたものである。その結果、織度が太くなり、撚数も増加した。結果、仕上げ加工での収縮は生じなかったため、左右の仕上がりが長さの差になった。

部分整経は、1チーズで1ビームに巻かれたもので、外層より順にバンドが並び、内層糸で、最終バンドになる方式であったことが、布の左右端の収縮差を生じて布目曲りとなったものである。